

國學院大學學術情報リポジトリ

公開シンポジウム日本の伝統文化教育と人間開発学の構築：カリキュラム開発を視野に入れて：
公開シンポジウムの趣旨(平成二十二年度國學院大學人間開発学会第二回大会公開講演会・シンポジウム日本の伝統文化教育の可能性--人間開発学の基盤構築に向けて)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 安野, 功 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001198

〔公開シンポジウム〕

日本の伝統文化教育と人間開発学の構築

——カリキュラム開発を視野に入れて——

公開シンポジウムの趣旨

安野 功

本シンポジウムのテーマは「日本の伝統文化教育と人間開発学の構築—カリキュラム開発を視野に入れて—」です。

最初に、テーマの趣旨をお話いたします。

今、我が国の教育において、伝統文化に関する教育の充実が教育課題として大きくクローズアップされています。それは、改正教育基本法及び学校教育法が伝統と文化を尊重する教育の充実を求めているからです。

例えば、改正教育基本法においては、その第二条第五項で「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」を教育の目標の一つに掲げています。また、改正学校教育法では、その第二条第三項で「我が国と郷土の

現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」を義務教育の目標の一つに挙げています。

さらには、これら教育基本法及び学校教育法の改正を受けて改訂され、平成二三年度に全面実施を迎える新学習指導要領においても、伝統や文化を尊重する教育の充実が図られているからです。

一方、國學院大學人間開発学部は「人間力の育成」という昨今の社会的な要請を受け、「人間開発」という新しい発想・理念による「人づくり」を目指し、平成二一年度に創設された学部です。

國學院大學人間開発学部における「人間開発」とは、直接には、様々なストレスやプレッシャーなどによって閉じこめられたままになっている人間の潜在能力や才能を「弾ける」「拓く」「拡がる」ように引き出し、その人がその人らしく生きようとする力、すなわち「人間力」を育むことを意味するものとされています。

ところで、そうした新しい発想・理念による「人づくり」を目指す新しい学部が國學院大學に創設された背景には、國學院大學の建学の精神及び「教職の國學院」の名で親しまれてきた本学の伝統の継承・発展という二つの基盤があることを忘れてはならないと思います。

國學院大學は、明治一五年の皇典講究所の創設を出発点として、明治二三年に、それを母体として設置された國學院が発展して現在に至っている我が国有数の歴史をもつ私立大学です。その本学は、創立以来一貫して建学の精神を「神道」に、その学問の基盤を「国学」に求め、有為な人材を輩出してきました。とりわけ、明治期以来、教員養成の伝統と実績をもつ本学は、世間から「教職の國學院」の名で親しまれるほどの定評を得て、教育界に数多くの人材を輩出してきました。また、研究面においては、「神道」「国学」の研究を通して、我が国の伝統文化の源や本質の究明に大きく寄与し、多大なる研究の実績を挙げてきたのです。

國學院大學人間開発学部は、これらの歴史的背景の上に創設された学部であり、「人間開発」を目指す本学部の目的の筆頭に挙げられているのは、「本学の建学の精神である『神道』を中核とする『日本の伝統文化』を対象とする学びを基盤としつつ、その継承・発展を担い、未知なる広い『世界』を視野に入れた活動のできる人材の育成」です。

こうした本学部の設置理念や目的を踏まえ、人間開発学の基盤構築に向けて、「日本の伝統文化教育と人間開発学の構築」というテーマの下、まず本学の太田、成田、藤田の三名の発題者から、それぞれのお考えをご発表いただきたいと思ひます。

さらに、コメンテーターとしてお招きした上越教育大学大学院の畔上直樹先生から、それぞれのご発表についてご意見を頂戴した後、フロアーの皆様を交えて議論を深めていきたいと考えています。

なお、ここでいただいたご意見を、伝統文化教育にかかわる本学部のカリキュラム開発に繋げていただければと考えておりますので、そうした視点からご意見をいただけると幸いです。それでは、シンポジストの先生方、よろしくお願いいたします。

(やすのいさお・國學院大學人間開発学部初等教育学科教授)